

資料配布の場所・日時

1. 国土交通記者会(資料配布)
2. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：令和5年7月12日(14:00)



国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について

(AI技術等を用いた連続繊維シート補修等の点検高度化に関する共同研究)

国立研究開発法人土木研究所では、令和5年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

1. 土木研究所が提案する共同研究 (土研提案型：公募共同研究)

AI技術等を用いた連続繊維シート補修等の点検高度化に関する共同研究 (詳細は別添-1)	令和5年10月(予定)
担当：材料資源研究グループ(iMaRRC)	～ 令和8年3月31日
共同研究の目的 <ul style="list-style-type: none">・コンクリート構造物の補修・補強には、様々な材料・工法が存在するが、早期に再劣化する事例もあり、損傷メカニズムに対応した信頼性の高い補修技術による設計・施工が求められている。・施工例の多い連続繊維シートのはく離や浮きなどの再劣化については、補修部が被覆されているため、目視による変状の発見は困難である。・足場を組む、もしくは高所点検車両を用いた近接打音検査による点検が行われているが、補修箇所の打音はコンクリート単体とは異なり、健全部とはく離や浮きが生じた劣化部の差異が小さい場合がある。そのため、熟練工である点検者の感覚に頼った判断となっており、点検診断手法として確立されていない。・本研究ではコンクリートを連続繊維シート等で被覆補修した箇所を点検する際の精度確保と省力化を目的とし、AI打音検査、あるいは、打音検査を補助する1次検査としてサーモグラフィ計測を共同開発し、点検者の熟練度に依存しない信頼性の高い点検が可能となる方法を検討する。・共同研究者は土木研究所との連携によって、実構造物の補修、再劣化事例や知見を得られるばかりでなく、コンクリート構造物の補修対策施工マニュアル更新など成果公表の際の波及効果が高く、現場への技術導入の促進が見込める。	
共同研究の内容(項目) <ul style="list-style-type: none">①連続繊維シート補修箇所の浮きに対するAI打音検査あるいはサーモグラフィ計測等を用いた解析②連続繊維シート補修箇所に対する面的な浮き部検出方法の開発③実構造物における連続繊維シート補修箇所の再劣化に対する点検技術の開発	

2. 募集期間 **令和5年7月12日(水)から令和5年8月16日(水)まで**

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書、協定書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<https://www.pwri.go.jp/>)に掲載しております。なお、申請書類につきましては、下記担当へ提出願います。

問 い 合 わ せ 先	
全般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 矢島 良紀 主査 佐藤 貴嗣 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 先端材料資源研究センター(iMaRRC) 材料資源研究グループ 上席研究員 百武 壮(担当) 電話 029-879-6763

